

カムカムはっぴい

発行元
㈱番地銘石
青森市堤町1-3-16
TEL 017-775-1483
FAX 017-723-5756
フリーダイヤル
0120-75-1483

梅雨入りして蒸し蒸しとした日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ねぶたままであと1ヶ月、今年も青森の夏がやってきます。

が、その前に番地銘石で夏を先取り♪
今年で4回目となる『インド古典音楽の夕べ』を開催します。

演奏者はノレンドロ・ナー ト黒坂昇さん (Tabla) と相場勝也さん (Sitar) のお二人です。

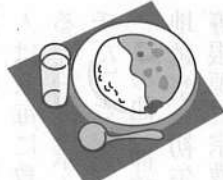


左がTablaの黒坂さん、右がシタールの相場さん

Tabla (タブラ) とは北インドの太鼓の一種であり、

Tabla (高音用) とバヤ (低音用) の2種類からなる打楽器です。Sitar (シタール) とは北インド発祥の弦楽器です。ピートルズのジョージ・ハリスンが『アルウェーの森』など多数の楽曲で使用したり、他アーティストの方も使用しています。

当日は照明を落とし、キャンドルナイトでの演奏会を予定しております。黒坂さんと相場さんの絶妙に息の合った気持ちがい演奏で、異国の風を感じながら神秘的な時間をお過ごしください。



なお、お食事をされたい方に本格インドカレーをご用意します。青森市新町にある本格インドカリーのお店『マサラマサラ』さんから提供してもらうことになりました。

インド古典音楽の前にスパイスの効いた本格インド

カリーを召し上がりたい方は演奏会予約と同時に申込みください。

☆ただいま予約受付中☆
フリーダイヤル
0120-75-1483

日時 7月18日(日)
午後7時より

会場 ㈱番地銘石
シヨールーム内

会費 2000円
(チャイ付)

・☆☆☆☆
本格インドカリー

1皿 700円

※お食事

午後6時から

※演奏会

午後7時から

・☆☆☆☆

本格インドカリーのお店
『マサラマサラ』

青森市新町1丁目9-5

017-735-9066

カーリング

先日、青森県カーリング協会の総会があり、チーム青森全員の去就が発表されました。



5人が集まるのはこれが最後かな？

さっそく会場へ番地銘石も潜入してきました。

山浦さん、石崎さん、近江谷さんはチーム青森として競技を続け、本橋さんは競技は続けるがチーム青森に残るかは未発表。スキップを務めた目黒さんがチームを脱退し、一度競技から離れることになりました。残念だなどという気持ちもありますが、結婚を視野にいれ故郷へ帰るといふのは一大決心だったと思います。第一線で活躍してきた目黒さんにお疲れ様と声をかけてあげたいです。目黒さん

脱退に伴い、青田しのぶさんが新加入するそうです。カーリングだけでなく、柔道2段の腕前で今も子供たちに柔道を教えており、元のバスケットクラブの現役選手だそうでチーム青森に新しい風を吹かせてくれるかと思えます。これからのチーム青森と女性としての幸せを掴んだ目黒さんを変わず応援していきたいと思えます。



へ、もう1つは目黒さんへ寄贈させていただきます。



写真はサイン中のメンバーとサイン入りストーンです♪

お盆とお墓参り

お盆とは

お盆は、正しくは「盂蘭盆会」(うらばんえ)といわれます。サンスクリット語でウラパンナ(逆さばりにされたような苦しみ)といい、「盂蘭盆会」はその音が転じて、略してお盆というようになったといわれています。

この行事は、お釈迦さまのお弟子の目蓮尊者が、亡くなったお母様が餓鬼の世界で生まれ変わり苦しんでいるのを知り、なんとか救おうとその母に食物を与えらるのですが救われず、お釈迦様のお導きで、多くの衆僧を招いてご供養の大布施行を捧げたところ、餓鬼の苦しみからのがれることができたという。

その日が七月十五日であったという故事から、この期間に、ご先祖の霊をわが家に迎えてご供養を捧げ、また、仏様の浄土に送り返す「盂蘭盆会」の行事が行われるようになったといわれます。

お盆とお墓参り

日本人は宗教心が薄いと云われることがあります。

本当にそうでしょうか？民俗大移動とも言うべきお盆の帰省ラッシュの目的



は、お墓参りです。ある西洋人は「すばらしい！日本人は家毎に教会を持っていて、仏壇はポータブルチャージャーだ」といっています。

この他、神前結婚式・初詣・地鎮祭・初午・宵宮・葬式等根源に宗教観をもつ行事は多くあります。多様な神様・仏様と緩やかに付き合うのが日本人のスタイルだと私はこの頃感じています。

お墓は仏教だけのものではない

民俗学者の柳田國男が一九四五年十月に発表した「先祖の話」は、海外から仏教、儒教、神道が伝わる前から、日本人の中に強く流れる意識について述べています。歴史書に書かれてないけれど各地で残る伝承や風俗の中に、子孫の永続と繁栄を願う縁者達(靈魂)の存在を記しています。(先祖教・先祖の話六十四節 死の親しさ)

お墓は子どもへの負担？

お墓で、将来子どもたちに負担をかけたくないとい

われることがあります。実は負担ではなく、継承者へ期待の一つの形なのです。

後継者の辿るべき重要な通過儀礼。そこに生きる力を育てるための意思と知恵が隠されています。



土地に依存した農耕文化で大半が育った日本人は、移動する狩猟民や遊牧民と違った文化をもっています。お墓は自分達が受け継ぎ次の人達へ伝える思想と知恵のシンボルなのかなと感じています。

石という物体の中に伝えたい価値観が表現されているように思います。お墓は自分の人生をはるかに越えて残ります。いままで何を託されてきたのか、これからそこに何を託すのかを考えてみてはいかががでしょうか。

個人の命は有限ですが、世代を超える価値を伝えるお手伝いをする、そんな気持ちで家業の墓石屋をやっています。

(番地 常夫)

スタッフじゅりこのほのぼの育児日誌

お久しぶりです。早いもので息子は1才5カ月になり、顔つきや遊び方などすっかりキッズになってきました。今回はそんな息子のお気に入りベスト3を発表します。

まず第3位はタグです。タオルなどについているタグが好きで、特に眠い時に握らせると効果バツグン。落ち着くのかコロッと寝てくれます。

続いて第2位はお外。とにかく外で遊ぶのが好きで、自分で帽子をかぶってきては「あっち(外に行こう)」と言って手を引つ張ります。そうそう、いくつか単語も話すようになりました。

外へ行くと、よつぼど楽しいのか家に入りたがらないのが難点。入ろうとすると地団駄を踏んだり、への字口になってゴンボほったりと表現も豊かになりました。

そして栄えある第1位はやっぱりブブ(車)です。男の子って大体好きですよ。ね、車が。遺伝子の中に車が好きなようになるよう組み込まれてるんじゃないかと何気に疑っています。

惜しくも上位3位に入りませんでした。がパンも好きです。用意したご飯に飽きてくるとパンを要求。ご飯は余してもパンはしっかり「おいしー」と言って食べるズルスケです。

息子の行動を見てると1年5カ月の間にたくさん成長していると感じます。私も親として成長しなくてはと思う今日この頃です。

ご来店プレゼント

お盆が近づき、お墓の掃除に行かれる方が増えてきたと思います。香炉の砂が汚れていたなあとお気になってはいませんか？

カムカムはつびいをお送りした封筒をご持参の方に雨が降っても固まりにくいと大人気の香炉用の砂『清砂』をプレゼント。お出かけの際は忘れずにお持ち下さいませ。H22年8月12日まで

編集後記

日本は惜しくも敗れましたがW杯で湧いてますね。今月、番地銘石はインド古典音楽で湧きたい☆(じゅりこ)